

佐藤 和秀(東海国立大学機構名古屋大学高等研究院 医学系研究科呼吸器内科 S-YLC特任助教)、岡地 祥太郎(東海国立大学機構名古屋大学医学部附属病院 呼吸器内科病院助教)、古川 和宏(東海国立大学機構名古屋大学医学部附属病院 消化器内科病院講師)、寺澤 彰規((株)白鳩・開発営業グループチームリーダー)、西久保 賢((株)スズケン ケンツ事業部営業推進一課主任)

## 概要

医療の現場で日常的に広く使える検査用飛沫防止マスク(e-mask; 内視鏡検査時の簡便・安価・実用的な飛沫感染予防マスク)の開発と事業化を実施。

## 目的

呼吸器気管支鏡・上部消化管内視鏡・鼻咽頭内視鏡・鼻咽頭PCR/抗原検査の検体採取の際に医療の現場で日常的に広く使える検査用飛沫防止マスクの開発と事業化。

## 内容

消化器・呼吸器領域で行われる経口・経鼻内視鏡検査は、検査中に患者の咽頭反射や咳嗽反射により飛沫飛散が多くコロナ禍において課題があった。その解決に向けてe-maskの開発に取り組み、臨床実地に即した経済性と簡便さ、遅滞なく商品流通できるサプライチェーンを確立し2021年11月に発売。

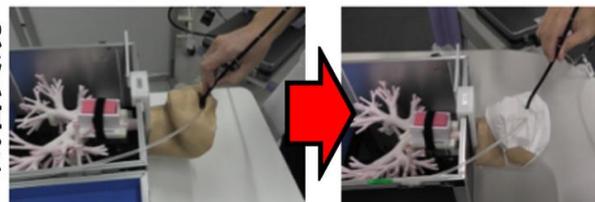
## 効果

e-mask を使用した場合、e-mask がない場合に比して画像定量により10000 倍以上の粒子阻害予防効果がみられ、1枚50円以内の経済性も実現。

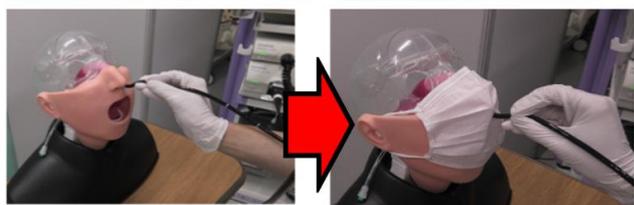
従来

ニューノーマル

気管支鏡



鼻咽頭内視鏡



ココがポイント!

飛沫遮断効果を科学的に実証済。Withコロナ／Postコロナの新しい安全・安心な内視鏡検査スタイルの提案であり、標準予防策として臨床医療現場に変革を促すものである。実用性、経済性を追求した有用な製品である。